

西光寺だより

第六十八号 平成二八年 四月一日発行

●今月のことば●

ようやくあたたかくすごしやす季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて今まで正信偈の「帰敬頌」と「依経段」について述べてきました。その中で阿弥陀仏と阿弥陀仏の本願のいわれや、釈尊がこの世にお出ましになられた意味と『仏説無量寿経』に説かれてある釈尊のみ教えに接する私たちの心構えを学ばせて頂いたことでもあります。

そして最後の結びにあたる部分で、私たちのような邪見・憍慢の悪衆生にとっては阿弥陀仏の本願によって与えられているお念仏を、信じてたもち続けることは困難の中の困難であると親鸞聖人は誠(いまし)めておられます。

しかし、そのような私たちですが次の「依釈段」において、七人の高僧による本願の念仏についての解釈が示されている段で、どのような事を私たちに教えてくださっているのでしょうか。

次回から「依釈段」。親鸞聖人が選ばれた七人の高僧がた(七高僧)について述べさせて頂きたいと思えます。

合掌



浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七七一

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>

◆先月の報告◆

①第二七回茨木東組念仏奉仕団が三月三日(木)～四日(金)に行われました。今回は茨木東組十八カ寺の寺族・ご門徒の皆さん総勢四十六名の方々と行ってまいりました。西光寺からは七名の参加でありました(当日は参加予定の住職が風邪の為急遽老坊守参加でご迷惑おかけしました)。

本願寺での書院拝観・抹茶接待、本願寺住職との記念撮影、龍谷ミュージアム観覧、京都東急ホテルでの懇親会・宿泊、本願寺境内を皆さんで清掃、など盛りだくさんの内容で行いました。

そして今回は西光寺総代寺田一雄様が二〇回目(二〇年参加)の念仏奉仕団参加ということで表彰を受けられました。続けることの素晴らしさと健康を保つための努力を今回の表彰を通して感じることであります。本当におめでとうございます。そして西光寺ご門徒参加者の皆さん、ご参加いただきありがとうございます。





本願寺本堂清掃



②三月六日(日) 茨木東組重点プロジェクト(子育て支援)を総持寺にある常稱寺様で行いました。一時間半という短い時間ではありましたが、参加者子供二十二名、大人二十七名で、仏参・腕輪念珠作り・パネルシアター・マジックショーなど盛りだくさんの内容で楽しく有意義な時間を過ごすことができました。



みんなで腕輪念珠作りとマジックショー



③三月二〇日(日) 西光寺本堂にて、細川家初参式を行いました。皆様と共に十二礼のお勤め、お焼香をさせていただき新たないのちの誕生をともに喜び、仏さまへの感謝のお勤めをさせていただきました。おめでとうございます。



歩夢くん おめでとうございます

④三月二十一日(月・祝) 西光寺本堂にて、毎川家初参式を行いました。皆様と共に十二礼のお勤め、お焼香をさせていただき新たないのちの誕生をともに喜び、仏さまへの感謝のお勤めをさせていただきました。おめでとうございます。



慧悟くん・千咲ちゃん おめでとうございます

